

.....

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリ
2. 体験した事例の名称	傷病者を移動中にストレッチャーから転落しそうになった事案
3. 体験した事例の中心的要素	救急隊到着時、傷病者は飲食店店内で過呼吸状態で床に座っており、ペーパーバックを実施していた。ストレッチャーを店内まで搬入し、傷病者をストレッチャー上に乗せ、安全固定ベルトを使用しようとしたが、傷病者が著明な肥満であったため、ベルト固定ができないまま、店外へ搬出を開始した。店舗出入口が狭隘であった
4. 体験した事例の原因・理由	1、傷病者が著明な肥満であったため、ストレッチャーの安全固定ベルトが未装着であった点。 2、店舗出入り口が非常に狭隘であったため、傷病者横に救急隊員1名が付き添うことができなかった点。 3、店舗出入り口付近の緩やかな坂を考慮せず、救急隊員2名で方向転換を実施した点。

.....

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。
------------------	-----------------

.....

1. 発生日時	平成 20 年 7 月 4 日 午後 4 時頃
2. 発生した当時の天候	晴
3. 発生した活動現場	屋外：飲食店出入り口
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	軽傷の怪我をしていた（させていた）だろう。
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	墜落・転落
7. 事例体験時の活動	救急、現場活動中期 []
8. （7の活動中） どのような作業中に発生したか	車両への収容
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	これまでに1，2回程度体験している。

10. 事例体験者の属性（回答者は当事者A）

○当事者 A	年齢[52]歳、 勤続年数[33]年、 現場経験年数[25] 年、 階級[消防司令]、 同様の活動 [頻繁]、 任務 [車長]
○当事者 B	年齢[26]歳、 勤続年数[8]年、 現場経験年数[5]年、 階級[消防士長]、 同様の活動 [頻繁]、 任務 [隊員]
○当事者 C	年齢[26]歳、 勤続年数[6]年、 現場経験年数[1]年、 階級[消防士]、 同様の活動 [頻繁]、 任務 [機関員]
その他 (当事者が 4 人以上の場合)	

11. 事例発生経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過 1	当事者 B (隊員)	ストレッチャーの後側 (傷病者の頭側)	
経過 2	当事者 C (機関員)	ストレッチャーの前側 (傷病者の足側)	
経過 3	当事者 A (隊長)	ストレッチャーの後方から資器材を持って移動	
経過 4			
経過 5			
経過 6			
経過 7			
経過 8			
経過 9			
経過 10			

【その事例発生時の状況について】

.....

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

体力、反射神経等身体能力が優れていた。指揮者が適切に指示した。他隊(員)との連携活動がうまくいった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならぬという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・ 1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・ 活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	はい
・ 体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	はい
・装備・資機材の使用 방법이誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

はい：飲食店出入り口前が緩やかな坂になっていたため。

【事故発生後の取り組みについて】

.....

○注意力欠如、焦り等の対策について

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

飲食店 店内

丁川コンクリート工業株式会社 同業

ИЕЛОВЬ-ПЕРВОУ

建築家 内田 繁 監理中 日 8 月 8 日 午前 10 時 30 分

管理

5

1 階 1

2

3

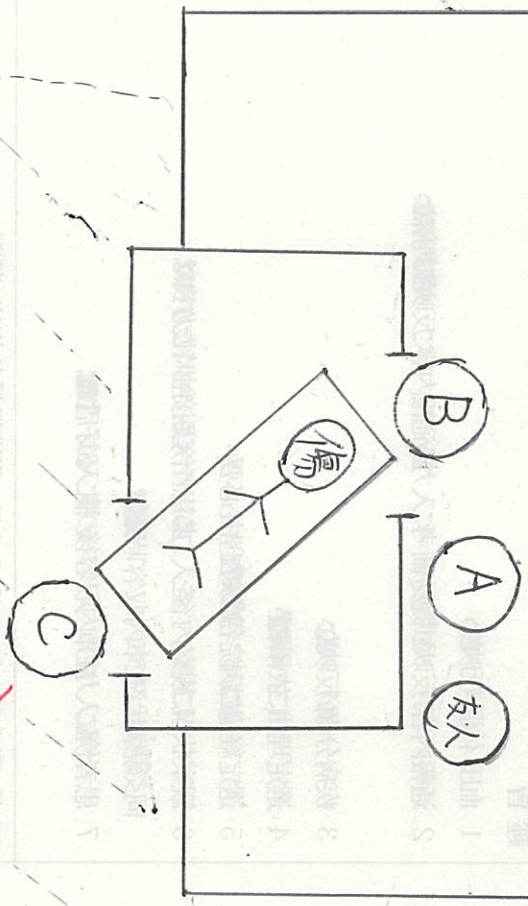
4

5

6

7

8



店舗前は
緩やかな坂



搬入経路

ミミと倒に
転倒させようとした。